

一念発起



平成30年1月25日号
豊田中学校 第2学年だより
発行責任者 石川収一

県学力診断調査を終えて（教科担任より）

国語

初めて読む文章に戸惑い、時間配分が上手くできない人が多かったようです。ただし、論述（作文）の問題に無答が少なく、皆さんの「書こう！」という意欲が感じられました。論述で4点満点をとることは難しいですが、自分の言葉で書く習慣をつけていくと、間違いや分かりにくい文が減ると思います。

今回のテストの誤答の多くは、問題の意図を捉えられていないために間違っしてしまっているものでした。定期テストの際にも同様の傾向があります。「一文を探し～抜き出さない。」とあれば文の先頭から抜き出すこと、「～なぜか。」とあれば文末を「から」として理由を書くことなど、答え方の基本を確認してほしいと思います。また、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題に、現代語訳（意味）を答えようとしている人が多く、正答率がとても低かったのも残念でした。古語や文法などの「言葉に関する知識」の問題に対応するには、用語の正しい理解が必要です。復習してほしいと思います。

社会

資料から読み取る問題が多く出題されていきました。資料から読み取る問題では「資料〇と資料〇を結びつけて～」とされているにも関わらず一方の資料のみを参考に解答をしまっているもの、ベトナム国内の事を聞いているにも関わらず日本について解答するなど、問題を理解できていないものも多く見られました。問題をしっかりと読み、正確に資料から読み取るようにしましょう。資料の読み取りをしっかりと出来るようになるにはたくさんの資料に触れ、読み取る経験を積むことが必要です。授業の中でも資料の読み取りは行っています。その時にしっかりと取り組むことが大事だと思います。

地形図の読み取りでは、cmからmに単位を変えることができていない解答が多く見られました。そのようなもったいないミスをなくしていけるように、距離を求める際には単位にまでしっかりと気を使うようにしましょう。

数学

今回のテストは、範囲が広く、中学1年生から2年生の図形の合同までがテスト範囲でした。自分の本当の実力が分かったテストではなかったでしょうか。テストの結果全般を見ると、1、2の計算問題は比較的よくできていました。校内の定期テストでたびたび出題されている問題でもあり、こうした計算の技能は定着しつつあると感じました。ただ、計算の技能の問題において、符号の間違いがやや目立ちました。確かな技能の習得のため、1年生の正の数・負の数の計算から今一度復習をする必要があります。サイドブックなどを積極的に活用しましょう。また、正答率の低かったのは8の連立方程式の応用問題や、9(2)の面積の問題などです。与えられている数量と求める数量、それらの関係を問題文から読み取って数式で表す力が十分ではありません。現在の学力では、こうした読解力が求められています。問題文を丁寧に読み、数量の関係を図や表と式、グラフに表すなどして「関係をとらえる力」を授業の中で身に付けていきましょう。11や12の図形の証明問題は、根拠を明らかにして論理的に考える問題です。なぜそうなるのか疑問をもち、説明できるよう課題意識をもって授業に取り組みましょう。

理科

学力診断調査は、テスト範囲が広いため、定期テストより3～5点くらい低くなる人が多くなります。今回もそんな感じで、勉強したつもりでも思うように点が伸びなかったという感想が多く聞かれました。問題4(6)のような新傾向の問題や、問題1(3)や問題3(1)のようなしっかりした知識がないと答えられないような問題はあるものの、比較的に出題されやすい問題が多かったように思います。しかし、問題2(水の電気分解)は定期テストで一度出題した内容であったものの、同じ間違いをしていたり、解答が書けなかったりした人が多くいました。授業や定期テストで扱ったことのある問題は確実に答えられるように、しっかり復習してほしいと思います。受験勉強は3年生になってから時間をとってやるものではなく、日頃のテスト反省やワークの見直しなども、しっかりやれば効果的な受験勉強になります。一年後に向けて、着実な努力を続けていってほしいと思います。

英語

定期テストと違って総合問題であるため、読んだことのない文を読み込んだり作文したりします。しかし、教科書の基本文や熟語を少し応用すれば、読み取ったり作文したりすることができます。注釈を見ながらどのような内容かをおおまかに捉えることもできます。また、リスニング問題は比較的よく得点できていました。日頃使っている言葉を英語にする練習が功を奏します。例えば、「何か用事ある？」を「何かしなければならぬことがありますか。」というように、もう一度日本語を丁寧に直してから英語にする力が求められます。英語の基礎基本は「基本文を使えること」です。毎日のライティングを有効に使いましょう。

テニス部とクラスの目標を達成したい！

始業式での2-1吉野公崇さんの「3学期の抱負」より

僕は今、テニス部の部長と学級委員をやっています。どちらも任された時は、正直僕にその役が務まるかどうか不安でした。男子テニス部は人数も多く、どうやって皆をまとめていこうか悩みました。でも、任された以上は目標に向かって頑張ろうと思っています。

テニス部の目標は、三年の夏に行われる県大会へ出場することです。二年生から顧問の先生が代わり、部活の練習内容もレベルが上がりました。きついと思うことも正直ありますが、今は土曜日、日曜日も休みなく毎日、部活を頑張っています。来年の夏まで時間があるようで、練習できる期間はあと半年しかありません。顧問の先生の指導の下、練習を重ね、県大会出場に向けて全員で頑張っていきたいと思います。

二年一組の学級目標は、最も幸せと書いて「最幸のクラス」です。この学級目標は、みんなが幸福で、幸運で、中学三年間で最高のクラスにするという思いが込められています。

二年一組は二学期の体育大会で優勝しました。優勝できたのは昼休みや放課後に練習を頑張ってみんなで団結できたからだと思います。

みんなで団結するためには同じ目標に向かって全員が一生懸命になることが大切だと思います。

クラスの仲間と迎える最後の三学期、後から思い出した時に、二年一組の仲間と過ごしたことが一番幸せだったと思えるようにお互いがお互いのために、支え合い協力したり、励まし合ったりして、学級目標を達成したいと思います。

立志の式にぜひお越しください！（希望者）

以下のように2月9日(金)に体育館で「立志の式」を行います。御都合がつくようであれば御来校いただき、生徒の様子を御覧ください。御来校の際はスリッパを御用意いただき、体育館東側よりお入りください。

- 13:40～
- ①開会の言葉
 - ②趣旨説明（学年主任）
 - ③担任の先生の話（古山、竹下、渥美、小山）
 - ④学級代表 立志の言葉（各クラス2名ずつ）
 - ⑤「青春の塔建立の記」朗唱
 - ⑥青春の塔奉納（1組より学級毎に）
 - ⑦励ましの言葉（校長先生）
- 15:00頃 ⑧閉会の言葉

<今後の主な行事>

- 2月6日(火)・7日(水) 私立高校入試
- 9日(金) **立志の式(2年のみ)**
- 15日(木) 学年末テスト
- 16日(金) 私立高校合格発表
- 23日(金) **修学旅行説明会(2年)** ※1年は参観会・学級懇談会
PTA運営委員会(引き継ぎ)
- 3月6日(火)・7日(水) 公立高校入試
- 14日(水) 卒業を祝う会
- 15日(木) 公立高校合格発表、学年会計監査(15:30～)
- 19日(月) 卒業式
- 20日(火) 修了式
- 28日(水) 送別式